

IJCAD マイグレージョンツール

マニュアル



IntelliJapan

目次

1. 移行する前に

- 1-1. 動作環境 ----- 1
- 1-2. 使用上の注意点 ----- 2
- 1-3. 環境移行のための準備 ----- 2

2. 環境移行作業について

- 2-1. 旧バージョンから新バージョンへの移行方法----- 5
- 2-2. 同一バージョン間の移行方法 ----- 8

3. Q&A

- 3-1. ログファイルについて ----- 10

1. 移行する前に

IJCAD の環境設定を移行する前に以下の内容を必ずご確認ください。

1-1. 動作環境

本製品をご使用いただくためには、以下の動作環境が必要です。（最新の IJCAD と同一）
 なお、予告せず変更されることがあります。
 最新の対応 OS の情報は、Web ページ(<https://www.ijcad.jp/>)にてご確認ください。

CPU	Core i5 以上を推奨
RAM	最低動作環境 4GB 推奨動作環境 8GB 以上 図面の容量によってはより高い RAM 環境が必要な場合があるため 64bit OS 推奨
HDD(SSD)	700MB 以上
対応 OS	Windows 10 バージョン 22H2 Windows 11 バージョン 22H2 64bit OS 推奨
ディスプレイ カード	推奨動作環境 2GB GPU (Intel(R) HD Graphics 4000 などのオンボードグラフィックでの動作実績もあり)
ネットワーク ライセンスサーバー	[ネットワークライセンスをご利用の場合のみ] Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022
その他	.NET Framework 4.8 (※)
	[DVD からインストールを行う場合のみ] DVD-ROM ドライブ

※ お使いのパソコンに「.NET Framework 4.8」がインストールされていない場合は、
 下記 IJCAD 環境設定用モジュールダウンロードページよりダウンロードしてください。
 (https://www.ijcad.jp/dl_htmls/DL_ijcad_tools.html)

1-2. 使用上の注意点

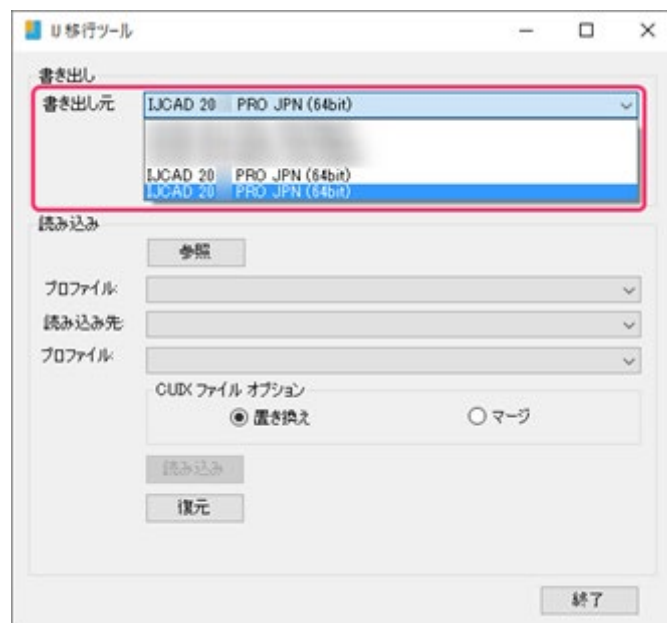
本製品が使用できるのは
 PRO 版から PRO 版へ といった**同グレード間**での移行、
 64Bit 版から 64Bit 版へ といった**同じ Bit 数の環境への移行**のみです。

例) ○…IJCAD 2022 STD 64Bit → IJCAD 2023 STD 64Bit への移行
 IJCAD 2023 LT 32Bit → IJCAD 2023 LT 32Bit への移行

×…IJCAD 2022 **STD** 64Bit → IJCAD 2023 **PRO** 64Bit への移行
 IJCAD 2023 LT **32Bit** → IJCAD 2023 LT **64Bit** への移行

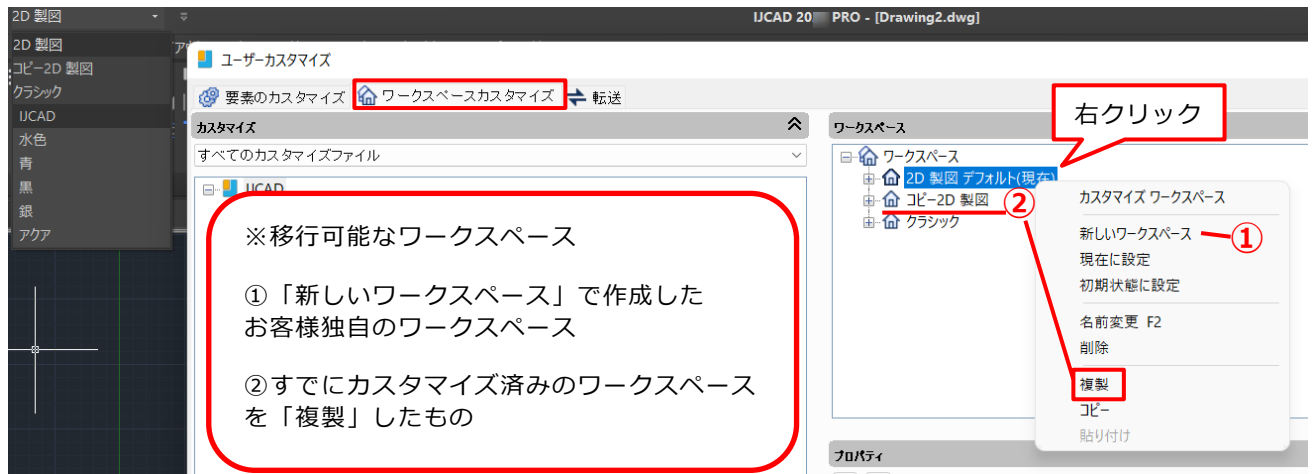
1-3. 環境移行のための準備

- IJCAD をインストール後、必ず [管理者として実行] から IJCAD を起動してください。
 この操作を行うことで対象の IJCAD がマイグレーションツールに認識され、
 「書き出し元」「読み込み先」の候補に表示されるようになります。



※IJCAD の詳しいセットアップ方法は「IJCAD 2023 セットアップマニュアル.pdf」をご覧ください。

- 現在 IJCAD のデフォルトのワークスペース「2D 製図」「クラシック」が移行できません。
お客様独自で作成されたワークスペース、またはデフォルトのワークスペースを複製したもののみ、移行することができます。



2. 環境移行作業について

環境の移行元と移行先の製品バージョンにより、操作手順が異なります。

- ・ IJCAD の旧バージョンから新バージョンへの移行
(例：2022→2023)
- ・ IJCAD の同一バージョン間の移行
(例：パソコン A の 2023→パソコン B の 2023)

それぞれ、下記の手順を参照してください。

- **旧バージョンから新バージョンへ移行する**
・・・『[2-1. 旧バージョンから新バージョンへの移行方法](#)』
- **同一バージョン間で移行する**
・・・『[2-2. 同一バージョン間の移行方法](#)』

2-1. 旧バージョンから新バージョンへの移行方法

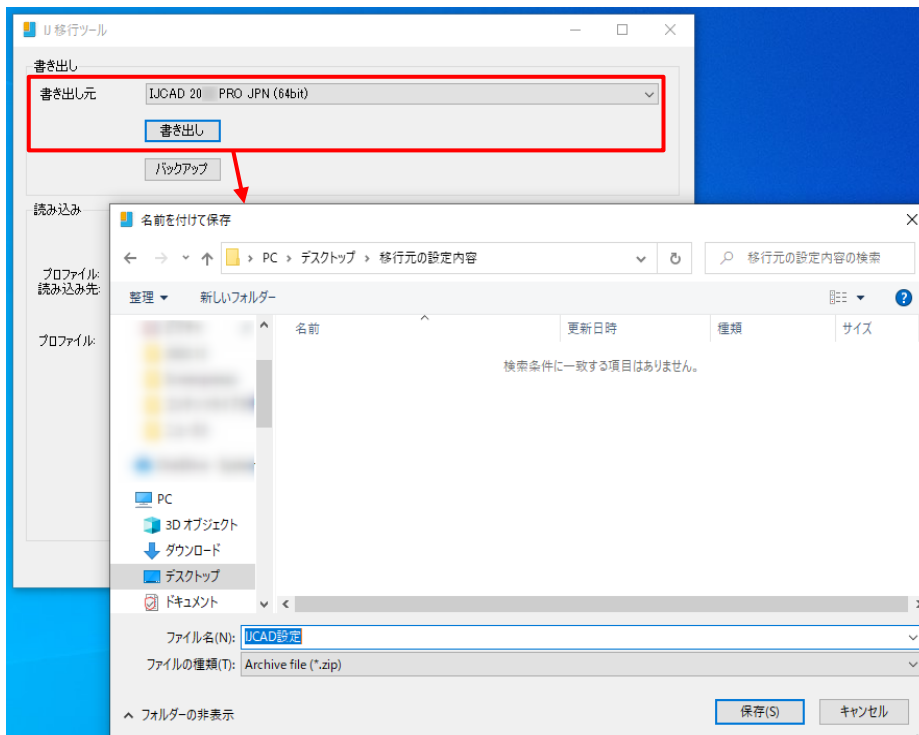
① マイグレーションツールを起動

IJCAD のスタートアップメニューから
「Migration Tool (マイグレーションツール)」を起動してください。

② 移行元の IJCAD を選択

環境を移行したい IJCAD (今まで使用していた IJCAD) を
「書き出し元」の一覧から選択して、「書き出し」ボタンを押してください。

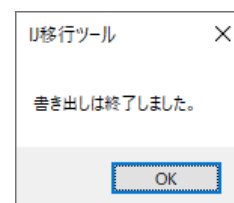
「名前を付けて保存」ダイアログが開きますので
わかりやすい場所に、わかりやすいファイル名で保存してください。



③ ファイルの保存先を確認

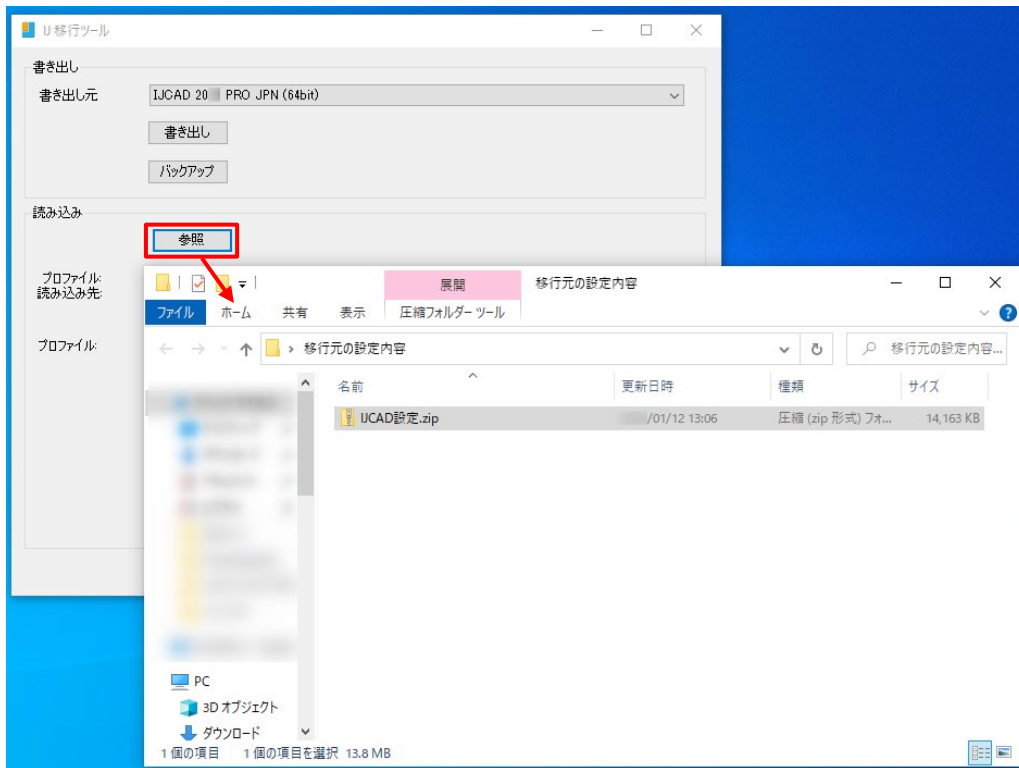
書き出しが完了すると
右のようなメッセージが表示されます。

指定した保存先に ZIP 形式のファイルが
作成されていることを確認してください。



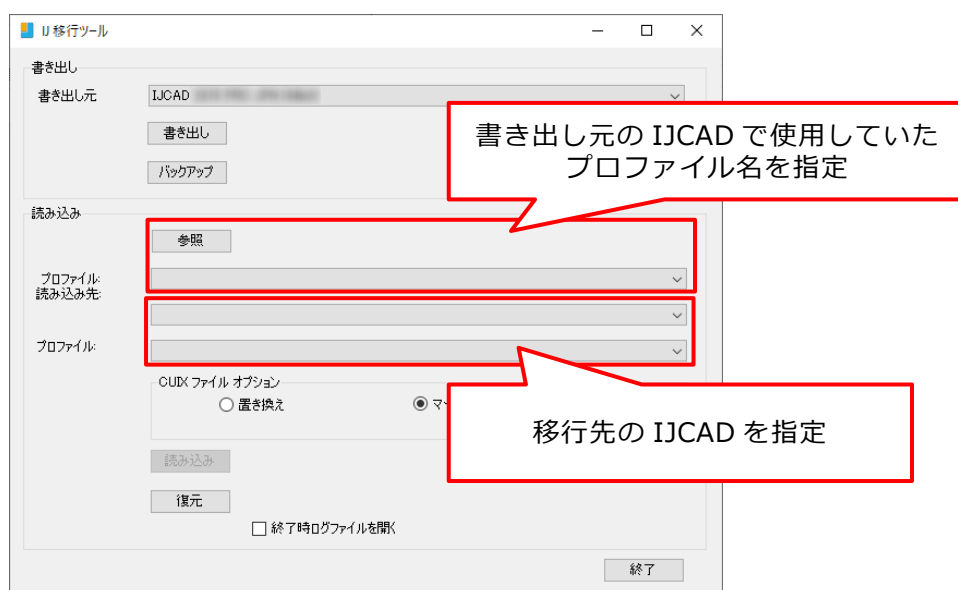
④ 書き出したファイルを選択

手順②③で書き出した ZIP 形式のファイルを
「読み込み」の「参照」ボタンから選択してください。



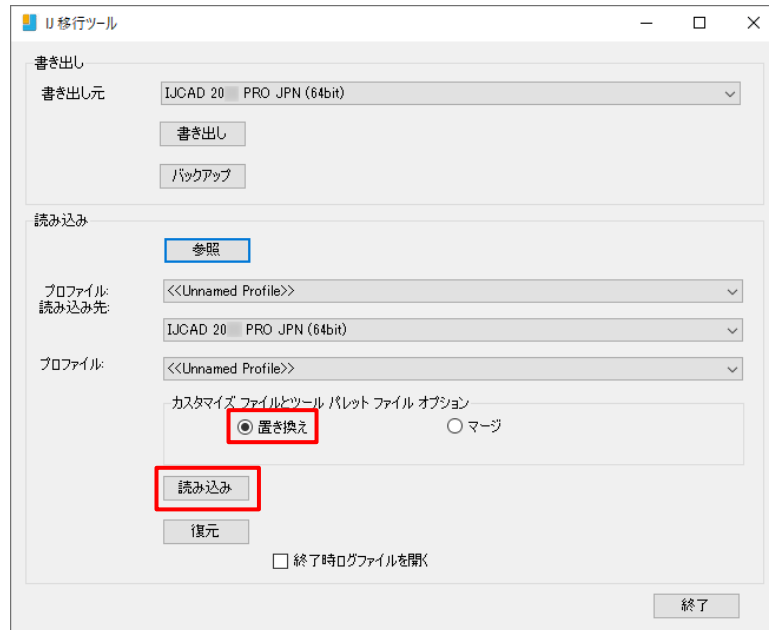
⑤ 移行するプロファイルと移行先を選択

書き出し元の IJCAD で使用していたプロファイル名を選択し、
「読み込み先」として移行先の IJCAD を指定してください。



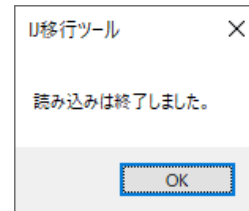
⑥ CUIX ファイルオプションの選択と読み込み

CUIX ファイル オプションで「置き換え」を指定し
「読み込み」ボタンを押してください。



⑦ 読み込み完了

右のようなメッセージが表示されたら
適用完了です。



2-2. 同一バージョン間の移行方法

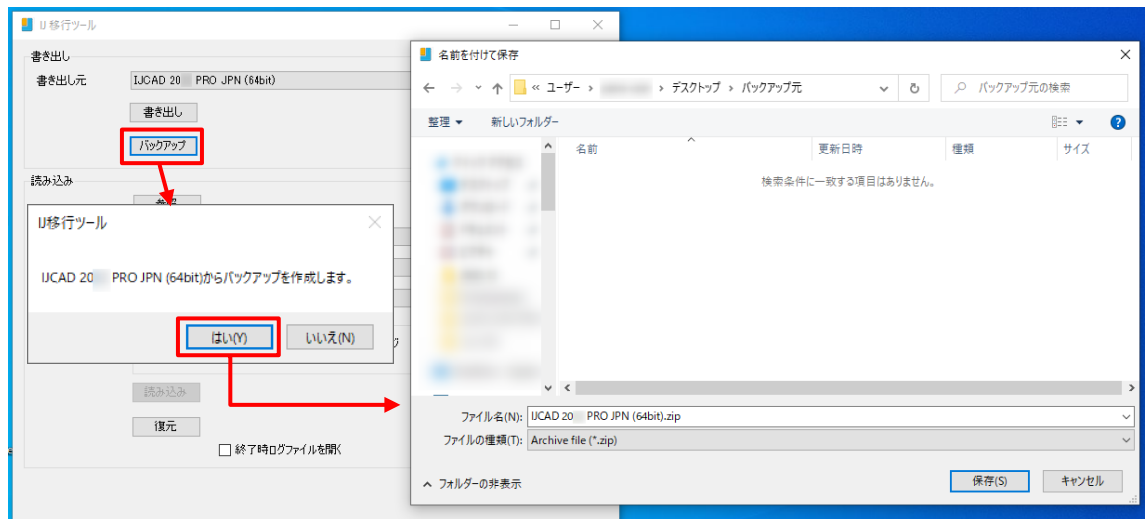
① マイグレーションツールを起動

移行元の IJCAD がインストールされたパソコンのスタートアップメニューから「Migration Tool (マイグレーションツール)」を起動してください。

② 移行元の IJCAD を選択

環境を移行したい IJCAD (環境設定済みの IJCAD) を「書き出し元」の一覧から選択して、「バックアップ」ボタンを押してください。

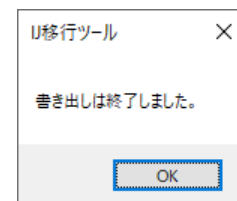
「名前を付けて保存」ダイアログが開きますので、わかりやすい場所に、わかりやすいファイル名で保存してください。



③ ファイルの保存先を確認

バックアップが完了すると右のようなメッセージが表示されます。

指定した保存先に ZIP 形式のファイルが作成されていることを確認して、移行先のパソコンへ ZIP ファイルを移動してください。

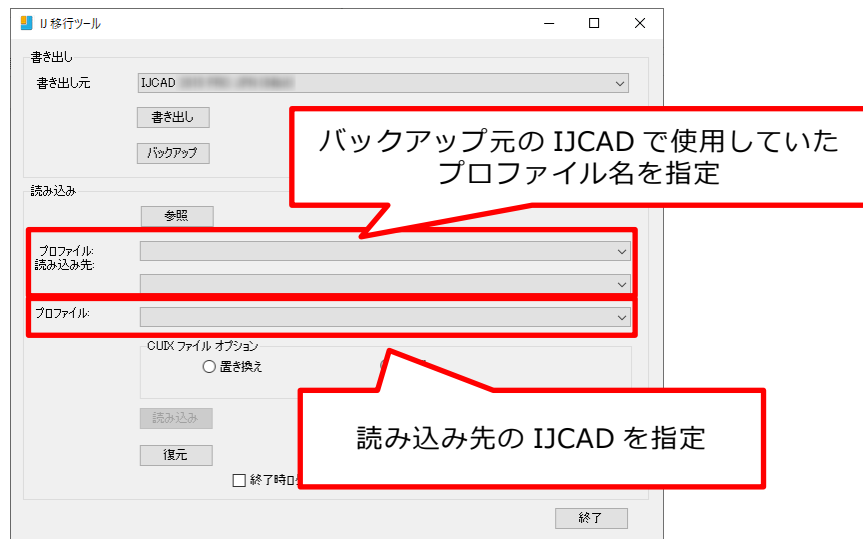


④ マイグレーションツールを起動

移行先の IJCAD 2023 がインストールされたパソコンのスタートアップメニューから「マイグレーションツール」を起動してください。

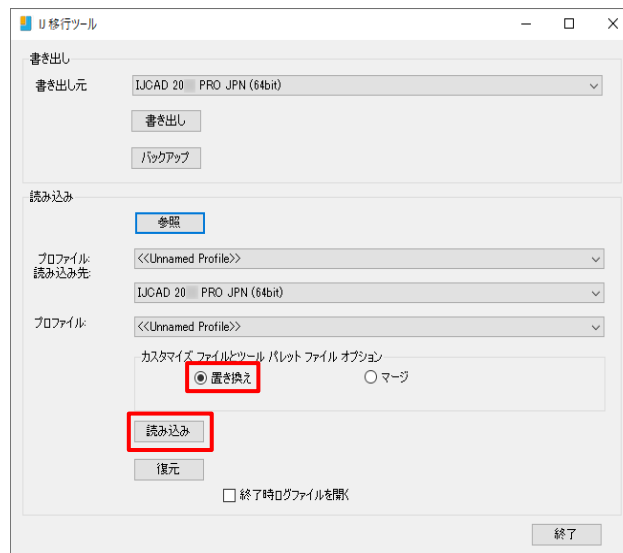
⑤ 移行するプロファイルと適用先を選択

バックアップ元の IJCAD で使用していたプロファイル名を選択し、「読み込み先」としての IJCAD を指定してください。



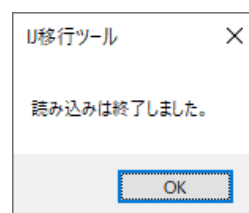
⑥ CUIX ファイル オプションの選択と読み込み

CUIX ファイル オプションで「置き換え」を指定し「読み込み」ボタンを押してください。



⑦ 読み込み完了

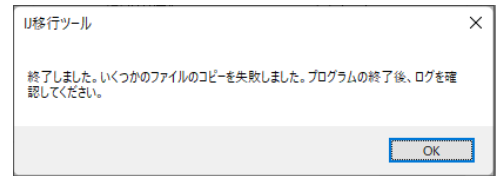
右のようなメッセージが表示されたら適用完了です。



3. Q&A

3-1. ログファイルについて

移行先を指定し ZIP ファイルの「読み込み」を行った際に右のようなダイアログが表示されることがあります。



マイグレーションツールを再起動し、再度「読み込み」を行ってください。

それでも同じメッセージが表示される場合は、マイグレーションツールを終了後、以下のパスに作成されるログファイルをご確認ください。

パス ... C:¥Users¥ (ユーザー名) ¥AppData¥Local¥Temp

ファイル名 ... IJMigration. (yyyymmddhhmmss) .log

() の中は「読み込み」実行時の日時が 14 桁の数字で記録されます。